

経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県宝塚市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	31	対象	透I訓ガ	救臨災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
227,645	31,903	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

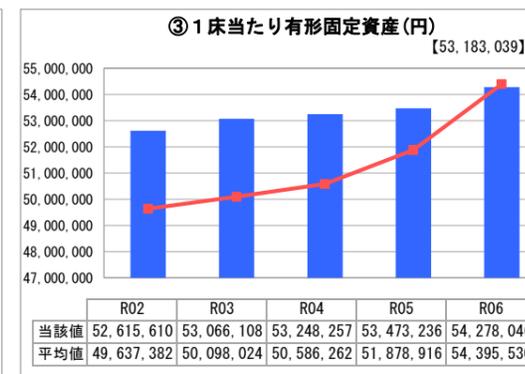
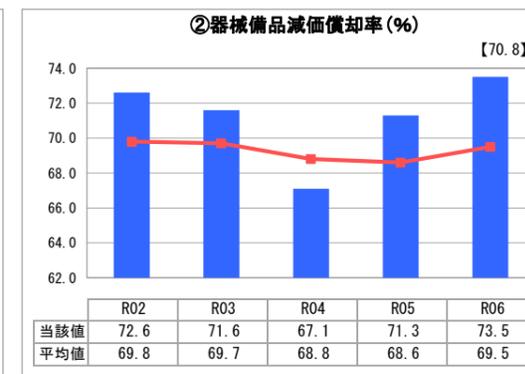
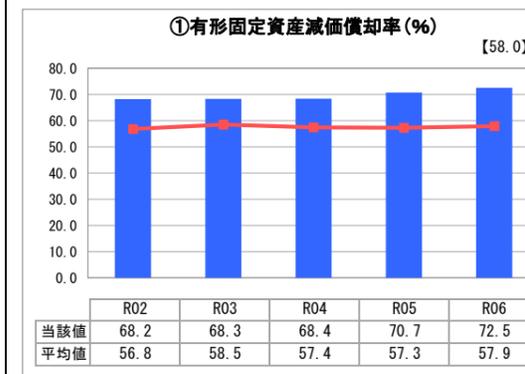
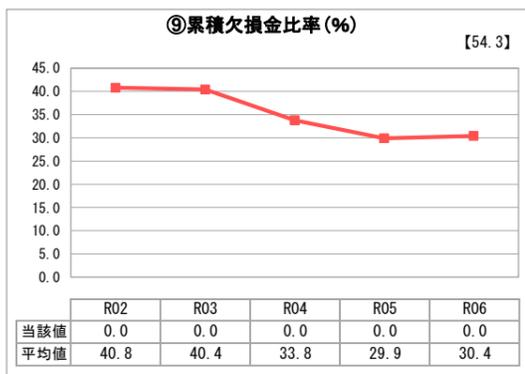
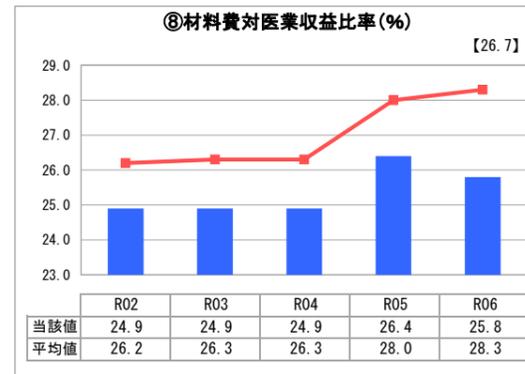
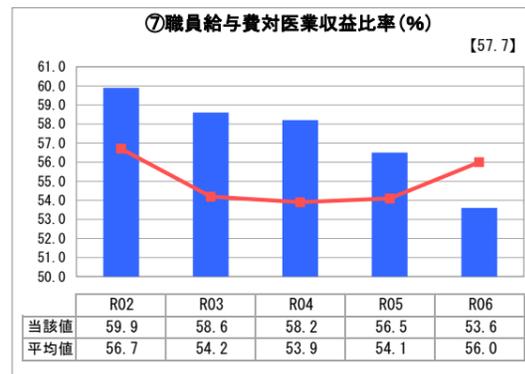
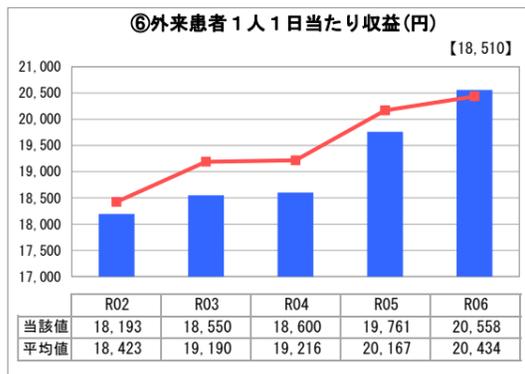
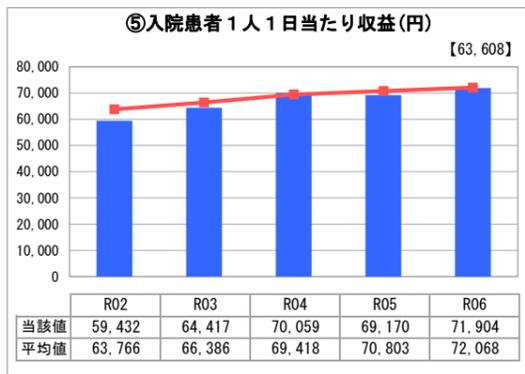
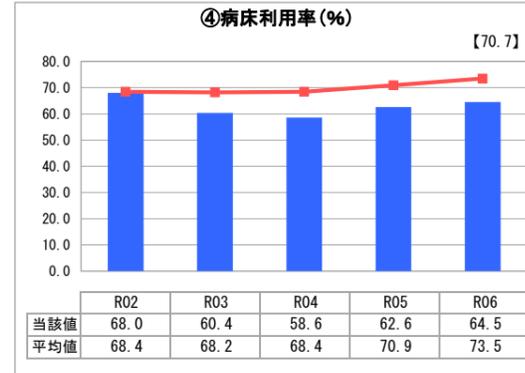
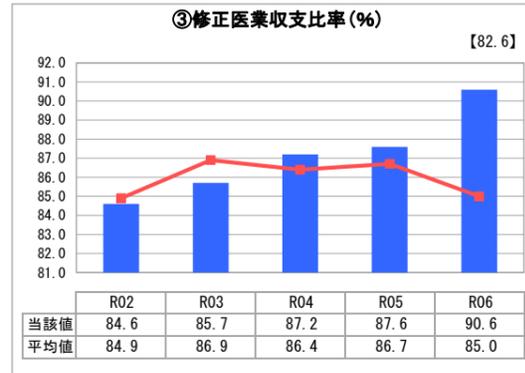
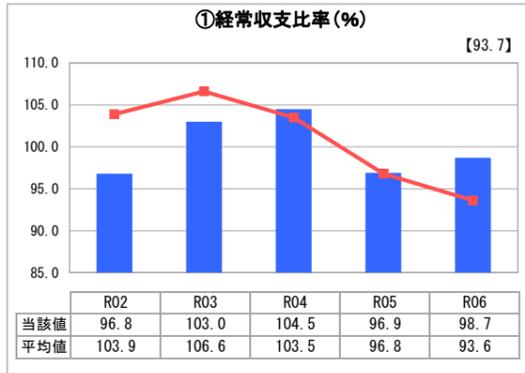
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
436	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	436
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
344	-	344

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

高齢化が益々進行する中、市民が安心して暮らしていけるよう、良質な急性期医療を提供し、救急受入体制とがん診療体制を提供しています。また、地域医療支援病院として地域の医療機関と連携して医療資源を効率的に活用するとともに、5疾病（がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）に対する医療需要の増加に対応しています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度はコロナ禍前には及ばないものの、前年度に引き続いて病床利用率が向上しました。また、DPC I及びIIの期間内退院への取り組みなどにより入院単価も前年度に比べ増加しました。物価高騰の影響もありましたが材料費対医業収益比率は医業収益の増加により前年度比0.6ポイント低下し、職員給与費対医業収益比率は、主に看護師の退職による職員数減少により前年度比2.9ポイント低下しました。その結果、医業収支比率は3.2ポイント、経常収支比率は1.6ポイントそれぞれ前年度比で改善し、類似病院平均値を上回ることが出来ました。今後も経営改善に向け、さらなる増収に取り組み、持続可能な病院経営を実現するため健全な経営を目指してまいります。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、昭和59年（1984年）に竣工した建物の減価償却が進んでいるため類似病院よりも高くなっています。器械備品減価償却率は令和5年度に実施した電子カルテの改修やマングラフィーマン更新などの減価償却が令和6年度から始まったため増加し、令和6年度も類似病院の平均を上回っています。

全体総括

令和6年度は、令和6年3月に策定した「宝塚市立病院経営強化プラン」（計画期間：令和6年度から令和9年度）のとおり、老朽化した配管の改修工事を行うために一部病棟を閉鎖していました。工事完了後に閉鎖していた病棟を再開する予定でしたが、看護師不足により一部病棟の閉鎖が継続された中、限られた病床を効率良く運用することにより、コロナ禍前には及ばないものの、入院患者数は前年度より増加することが出来ました。当院が果たすべき役割・機能に沿い、新たな医療機器の導入、効率的な病院運営、患者サービスの向上等により健全経営を行うとともに、新病院の整備を行うこととし、今後も市民が必要とする医療を継続して提供してまいります。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。